

# いじめ未然防止モデルプログラム 「校内研修パッケージ」及び「基礎知識集」 の活用について

北海道立教育研究所  
研究・相談部

これらの資料は道研 Web ページにあります。  
<http://www.doken.hokkaido-c.ed.jp/research/ijime/>

全ての学校においては、校内研修等を通して、いじめの未然防止の取組について、全教職員の共通理解を図る必要があります。そこで、いじめ未然防止モデルプログラム【平成28年3月版】を活用し、各学校において、取組の点検・評価・見直しを行い、充実を図る際に役立つよう、「校内研修パッケージ」及び「基礎知識集」を作成しました。

## 校内研修パッケージ

### ①研修を担当される先生へ

いじめの未然防止に向けた取組について中核となる先生が、校内研修を効果的に実施するためのポイントをまとめました。事前に準備をしておくことや、研修に関わるQ&Aなどを示しています。

### ②進行表

いじめの未然防止について、いじめ未然防止モデルプログラムの活用について、いじめの未然防止の取組について、学校でどのような教育活動を行うかについて、研修のタイムスケジュールです。学校の実態に応じて、60分で実施する研修と30分を2回で行う研修の2種類があります。

時間	項目	内容	備考
15:30 (2分)	開会 教頭挨拶		※資料等 ※事前に研修の準備をお願いします。
15:32 (1分)	0 本研修のねらい	いじめ未然防止の基礎基本 (s1) ○本研修のねらい (s1)	※あまり時間をかけないようにします。 ※最初の2分は説明が中心なので、一方通行にならないよう、講師、先生方に確認をしたり、同意を求めたりするようお願いします。
15:33 (7分)	1 いじめの未然防止の基礎基本	いじめの未然防止の基礎基本 (s2)～(s5) ・いじめ防止対策推進法 ・いじめの概念と指導の対象 ・自己有用感の育成	※自己有用感について、詳しくは国立教育政策研究所の生徒指導リーフLeaf18を参照してください。別えは、このリーフも事前に添付しておくことも考えられます。 ※自己有用感の育成がいじめの未然防止につながることを全教頭で理解することが大切です。
15:40 (7分)	2 いじめの未然防止につながる教育活動	いじめの未然防止につながる教育活動 (s6)～(s10)	※自己有用感を育成する教育活動とはどのようなものかについて、各学校の実態に応じて検討をお願いします。

### ③パワーポイント資料

校内研修で提示するスライドと、担当者が説明する際の読み原稿がセットになっています。各学校の実態に合わせて、説明内容を工夫してください。

○として、ボランティア活動がいじめの未然防止につながるのでしょうか。○全ての活動に書かれています。ただ、実施するだけではなく、いじめの未然防止につながるよう、指導上の工夫が必要です。

○画面の左を御覧ください。  
○活動の流れに沿って、教育活動がいじめの未然防止につながるポイントを示しています。  
○活動の最初では、ねらいや内容を理解させます。自分の行為が、誰かや、何かの役に立つことなどを理解させます。

○実際の活動においては、児童生徒一人一人に役割が当たるようにするとともに、教師による支援や助ましの言葉、活動のねらいを語らえ、頑張りを認める場面を位置付けます。

○活動後は、振り返り(シェアリング)を行います。自分自身の頑張りを振り返るとともに、仲間の頑張りに気付いたり認めたりする場面を位置付けます。

### ④活動のマトリクス

教師が主体 ① 目標づくり	学校名			
	活動のねらいと指導の目標を定めたプログラム	活動のねらいと指導の目標を定めたプログラム	活動のねらいと指導の目標を定めたプログラム	活動のねらいと指導の目標を定めたプログラム
児童が主体 ② 実行				
いじめが主体 ③ 振り返り				

いじめの未然防止に向けて、どのような教育活動を活用するのかについてマトリクスにまとめます。研修の中心となります。

## いじめの未然防止に関わる「知っておきたい基礎知識集」

【目次】

- 自己有用感 P1
- ①ピア・サポート活動 P2
- ②構成的グループエンカウンター P2
- ③ボランティア活動 P3
- ④グループワーク、フロアワーク P4
- ⑤児童生徒指導に活用できる資料 P5
- ⑥生徒指導と構成的な生徒指導 P6
- ⑦いじめの未然防止とボランティア活動 P7
- ⑧児童指導員としての役割と特色ある教育活動の場 P8
- ⑨生徒指導と家庭教育の関わり P9

【コラム】

- 「絆づくり」と「居場所づくり」 P1
- いじめの未然防止に関わる教師 P3
- いじめのアンケート P5
- 生徒指導と学習指導の関わり P7
- 解決志向アプローチの考え方 P10

平成28年3月 北海道立教育研究所

いじめ未然防止モデルプログラムを活用しながら、いじめの未然防止に向けた取組を推進するに当たって、知っておくことよい言葉や、活用できる手法を紹介しています。

- (紹介していることからの一部)
- 自己有用感
  - アサーション・トレーニング
  - 構成的グループエンカウンター
  - 「絆づくり」と「居場所づくり」
  - 生徒指導と学習指導の関わり